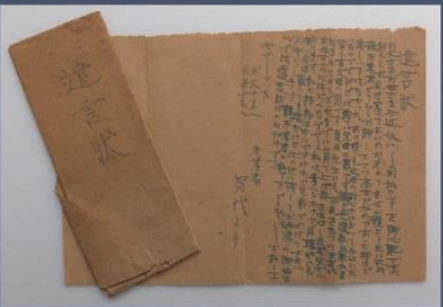


# 石川智代さんの遺言状



石川智代さんは、桜ヶ丘高等女学校の一年生であった昭和十九年十月に豊川海軍工廠に学徒動員され、指揮兵器部に配属されました。昭和二十年八月七日の空襲で同校より動員された北谷洋子さんと手をつないで逃げる途中に爆風にあい、二人とも犠牲になりました。戦後、母親のとみへさんが、智代さんが生前に仏壇へ遺言状をしたためたと言っていたことを思い出し探したところ、この遺言状と遺髪がみつかりました。



遺言状  
お父さまお母さま今迄、永い永い間私のことを心配下され何とお礼を言つてよいのかわかりません。親より先に死ぬ親不孝者どうぞお許し下さい。高女がためであった時ほど悲しい事はなかった。あの時も父母の慰めによつて今日に至つたのです。仰げば尊い父母の恩です。桜ヶ丘へ進学できたのも皆んな父母の恩です。夏目先生にもお礼を云つて下さい。生まれてから、これまでに育て上げ命を失はしたお父さんお母さんの心は、どんなでせう。私は考へただけで、目頭がじんじんとします。私の持物少いですけれど兄弟でわけて下さい。例へ命は散つても魂だけは此の世に遺して、お父様お母様の御体をお守りします。親不孝者の私です。どうぞぞぞお許し下さい。では、遺言状はこれだけです。

お父さまへ  
お母さまへ  
不孝者  
智代より

# 大林淑子さんの日記



大林淑子さんは、豊橋高等女学校の一年生であった昭和十九年十月に豊川海軍工廠に学徒動員され、火工部第二装填工場に配属されました。昭和二十年八月七日の空襲で防空壕の中で遺体が発見され、所持していた救急袋の中に日記帳がありました。この日記帳には昭和二十年四月十六日から六月十九日までのことが記されています。

淑子さんの日記より  
四月十七日  
七時のニュースを家中で聞いた。二十八隻撃沈破とい  
うすごい戦果であった。後に、これはみな、特別攻撃隊の  
おさめた戦果だと聞いて、思はずみんな頭が下がった。  
ただただ感謝して家中で、お祈りをした。

